

『ファニーたい焼きトム27 激辛
キムチ』

第一幕 【新メニュー誕生！】

（舞台：「たい焼きトム」店内。カウン
ターの奥でトムがたい焼きを焼いてい
る。魚住は清掃中）

トム「（鼻歌交じりに）たい焼き♪たい焼
き♪ファンタスティックたい焼き〜！」

魚住「（ため息）……トムさん、今日も
朝からハイテンションですね」

トム「オーイエス！ニューメニューが誕
生したからね！」

魚住「（嫌な予感）……え、新メニュー？」

トム「その名も……『激辛キムチたい焼
き』！！！」（ジャジャン！と派手なポ
ーズ）

魚住「（目を疑う）ええっ！？たい焼きに……キムチ！？」

トム「ただのキムチじゃない！見よ、この真っ赤に輝く、唐辛子まみれのスペシヤル激辛キムチ！熟成発酵の香り、舌を焼き尽くす唐辛子の刺激、奥深い旨味の三重奏！口に入れた瞬間、甘い皮の中で辛さが炸裂し、鼻から火を吹くレベル！」

魚住「（青ざめる）そんなの……売れるんですか？」

トム「（自信満々）もちろんさ！さあ、試食だ！」

（魚住、しぶしぶたい焼きを一口かじる）

魚住「（フリーズ）……っっ！！」（目を見開き、体が震え始める）

魚住「（涙目で）……辛い！辛い！でも……うまい！？皮の香ばしさと、トロツとし

たキムチの酸味が絶妙に絡み合って、舌に甘辛のダンスを踊らせてる！これ……中毒性、あるかも……？」

トム「（拍手）完璧なりアクションだね！」

魚住「（涙目で水をがぶ飲み）……もうダメです、これ、辛すぎてお客さんパニックになりますよ！」

トム「いやいや、むしろこれがウケるんだって！ざあ、今日から販売スタートだ！」

第二幕 【最初の挑戦者たち】

（「たい焼きトム」店頭。新商品「激辛キムチたい焼き」のポップが派手に飾られている）

トム「(メガホン)レディース&ジェントルメン!新メニュー!辛さ爆発のたい焼き!チャレンジしてみよう!!」

魚住「(不安そう)……絶対トラブルの予感」

(最初の客・サラリーマン▶登場)

サラリーマン▶「お、なんだこれ?激辛?面白そうだな、一つちょうだい」

(魚住、恐る恐るたい焼きを手渡す)

サラリーマン▲「(パクリ)……ん?んん!? (顔が赤くなる)ギャアアア!舌が溶けるうう!!カプサイシンの嵐!脳天直撃の辛さアア!!!」

(近くにいたOLBが笑いながら見ている)

OLB「大げさなく。じゃあ私も一つ!」

(OLB「一口食べた瞬間、フリーズ」)

OLB「……………ッッ！！ (涙ボロボロ、地面に崩れ落ちる)」

魚住「(震えながら)……………やっぱり……………ダメじゃないですか」

トム「(満足げに)ノーノーノー！これは大成功だよ！」

(さらに次々とお客が挑戦し、壮絶なりアクションを見せる)

第四幕 【取材がやってきた！】

(テレビの取材クルーがやってくる)

リポーター「今、話題の激辛たい焼き！実際に食べてみたいと思います！まずはこの香り……………！おおっ、甘い生地の中か

ら、鼻を刺激する強烈なキムチの香りが立ち上ってきました！これは期待大！」

（レポーターがかじる↓一瞬フリーズ↓顔真っ赤↓転げまわる）

リポーター「ッッ！！！！かつ、辛い！！舌が焼けるようだ！！でもこの辛さの奥に、キムチの発酵の旨味と、たい焼きの皮の優しい甘さが……っ！このギャップがクセになりそうです！！これは……激辛好きにはたまらない逸品！！！」

（スタジオ爆笑）

トム「これで全国デビューだ！」

（さらに行列が加速）

魚住「（呆然）……これ、普通のたい焼き、もう売れなくなりませんか？」

トム「HAHAHA!どっちも売ればいいんだよ！」

第五幕 【閉店後の思索】

(深夜、『たい焼きトム』の店内。営業終了後、カウンターでトムが腕を組んで考え込んでいる)

トム「(独り言)……次は何を入れるべきか……?キムチだけでは終わらせない……チーズ?納豆?それとも……激辛ワサビ!？」

魚住「(疲れ果てて)もうやめましょうよ……普通のたい焼きが売れなくなるどころか、お客さんが修行僧みたいな顔で帰って行くんですよ……」

トム「HAHAHA、それがいいんじゃないか！」

魚住「（頭を抱える）……この店、どこへ向かうんですか……」

（トム、真剣な表情でたい焼きの皮をじつと見つめる）

トム「……ファニーなたい焼きの未来へさ！」

（店のネオンが消え、エンドロールへ）